

開催日時	令和4年9月16日(金) 19時00分~21時00分
開催場所	Web
出席者	間瀬、沖山、山本、木澤、正木、永嶋、中川、小森、堤、前川、伊藤、檀辻、山口、成田、岩田、本田、小山、樋笠、有吉、鮫島、岩井、金岡
欠席者	清原
記録者	中川
議題1	報告事項: 診療報酬改定のアンケート結果について 回復期リハ病棟における心臓リハビリテーションの実態について
<p>資料調査部 アンケートの回答率90%となった。(58/64施設) 心大血管リハ取得の現状と今後の予定 取得している施設は23%。 取得が難しい理由の1番は 循環器内科医、心臓血管外科医が不在、取得困難。 2番は機材、場所がない。 心理は患者の受け入れについてどうお考えですか?という質問に対しては 受け入れるが80%。 兵庫県の南部に施設が極端に集中している。 算定状況としては、回復リハ病棟13施設中実際に算定しているのは3施設。その他の10施設は同じ施設の その他の病棟で算定しているが、回復期病棟では算定していない。ケアミックス病院での算定となっている。 算定している施設の現状としては、廃用から心大血管に変更できた、循環器内科の医者が協力的という回答 があった。</p> <p>自由記載で県士会に要望することという質問に対しては。 研修会を定期的に行ってほしい。 人材育成の講習会など積極的に開催してほしい。 施設基準のハードルが高い。</p> <p>会員に対してしてほしいことは、 心リハを勉強する必要性を感じたため、研修会を積極的におこなってはどうか。 取得している施設の管理者等にどうすれば取得できるかなど管理御社ネットワークにて研修を講じる</p> <p>制度について 設備、機材、医師などの環境が整う必要があり、心リハを実施していても選定することへの障壁となっている。</p> <p>心リハ指導士は12/57施設にいる。</p>	

議題2	審議事項：EBSCO 社学術データベースへの収録について
<p>EBSCO 社より理学療法兵庫を EBSCO 社学術論文データベースへの収録の依頼があった。 収録に関しての費用は一切発生しない。 →進めることとなった。</p>	
議題3	会長報告
<p>会長行動録 8月24日補助金獲得に関する会議出席 地域医療介護総合確保基金事業に係る意見・提案（令和4年） 再入院・重症化予防に資するリハビリテーション 居宅などにおける医療の提供に関する事業 マルチモビディティ患者の増加が健康治療負担医療資源に悪影響を及ぼす例としての資料あり。</p> <p>昨年度作成した大目標について 報告した資料を別ファイルで示している。拡大三役会で意見をもらい、理事のラインワークスにアップし、それに意見いただいたうえで、10月の協議事項にしたい。</p>	
議題4	審議事項：次年度協会賞について
<p>表彰委員会から。 2名を推薦したい。 →承認された。</p>	
議題5	審議事項：段上西小学校保健事業当日の交通費の申請
<p>主催者側から支給されるのは一人日当3000円。 交通費支給は協力いただく参加者に必要な経費であると考えます。 →承認された。学校保健の種目がないので、支部から出してもらい、補填が必要ななら補填をする。来年度からは支部で予算編成をする。</p>	
議題6	審議事項：講習部独自の研修会に対する言語聴覚士の参加について
<p>講師から言語聴覚士の参加を求めてほしいと打診あり。 言語聴覚士（他職種）は無料としたい。</p> <p>→無料は反対意見が多い。部長と再度話し合い。学術局理事と会長と話し合ってもらって、規定作成など審議する。</p>	
議題7	協議事項：士会予算検討委員会の提言

総務部決算資料より報告(スライドあり)
雑収入が総支出に含まれている。
2200万円程度になっている。雑収入も含まれるので分かりにくくなっている。

予算検討委員会の提言の内容：
財務部局（仮）を設置し、予算の配分を議論すべき。
ベースアップを基に委員会予算を削減する割合を検討する。
財務状況により予算増加部門、予算削減部門、会費の見直し視野に入れて広く検討。
過去5年間程度の決算教協を基に費用対効果を検証する。
就業規則の改定に賃金規定の作成。
将来的に士会事務所に常勤職員を。

→
費用対効果を検証するというのはいかなる効果で検証するのか。
財務部局（仮）に権限が集中しすぎる心配があるので、各局から一人ずつ出してもらおうなどを考えたい。

議題 8 協議事項：日本理学療法士協会の意見交換会について

意見交換の内容：
事務局機能強化、デジタル業務支援、専従職員業務体系などについて
県市長連携体制、補助金・委託事業などについて
入会促進、若年増、中堅対応について
職能活動について
新生涯学習システム、各施設の登録作業、修正などについて
会費年代別会費設定、分割の否。キャッシュバック、夫婦割りなどについて

参加者、会長、事務局長、副会長（できれば拡大三役会のメンバー）10月15日19時から

議題 9 審議事項：ホームページ制作に関する仕様書作成について。

アーカイブサイトの会員外利用に関する規定について
協会員は5000円、非協会員10000円

→
非協会員は10000円。
協会員の値段は挙手により決定。2000円6名、それ以外は3000円8名以上で協会員は3000円となった。

議題 10 審議事項：アーカイブ配信の著作権の取り扱い講師の承認手続きについて
講師の承認手続きについて

承認依頼文を講演者に配信。承認を得る。
オンライン講演会実施及びアーカイブ配信に関する著作権ガイドライン及びウェビナー。
アーカイブ配信承認ファームというGoogleフォームを作成した。
→承認された。

議題 11	報告事項
<p>・ ZOOM アカウントの管理について。 各局で担当を決めた。 まずはこの担当に連絡をするようにする。</p> <p>・ 高年齢勤労働者の就労支援に関するモデル事業の実施にかかる公募について。 例えば労働衛生に係ること、腰痛に関してなどある。 福島、新潟、岡山の 3 県がしている。10 月 7 日までが締め切りなので、今年は無理だが。継続的にするのであれば、来年も今頃募集になる。こういうことをやっているところがあるか、伊藤理事と山本事務局で下調べる。情報があれば教えてほしい、</p> <p>・ 基金の報告 県庁の医務課に提出した。基金をもらうのに 3 つの壁がある。①医務課がこれはつかえるということになれば関係部署に送られる。②その関係部署がこれはいいとなれば、③財務局に出して財務局がいいとなれば予算が出る。 検討案を今医務課が作成している。案を 3 つ出したが、マルチモビディティ患者のリハビリテーションに出ることになった。計 6 00 万円の半分の補助となる。</p> <p>・ 1 2 月拡大理事会を見直し。 ラインワークスが始まり、情報が共有しやすくなっている。現在コロナ禍でオンラインになっているし、集まる必要があるか。 今年度は予算取りしているので、平日の夜で開催したい。 局別会議が必要なら別日で行う。</p> <p>・ 士会管理者研修会は士会役員協議会と名称変更した。</p>	
次回部会 日時・場所	日時; 令和 4 年 10 月 14 日(金)19 時から 場所; web
今後の予定	